



KCJS ニュースレター



2017年 春学期

第12号



<http://www.kcjs.jp/>

北山でお箸を作ろう

クリスティーン・リー (スワスマア大学)

一番楽しかったイベントはホストファミリーと一緒に箸作りに行ったことだ。土曜日にバスに乗って北山に行った。京都じゃないと思うほど田舎の町に着いた。弁当をもらって、ホストファミリーと二人の友達と食べて、箸作りに行った。作るのは結構難しかったが、一所懸命作ってみた。結果は下手だったが、皆の笑顔を見て、ホストファミリーと時間を過ごして大事な思い出を作れたことはよかったと思った。

One of the most memorable KCJS events was going to make chopsticks with my host family in Kitayama. After spending most of the morning with my family and with other KCJS students, we moved to a warehouse in order to make the chopsticks. While my chopsticks weren't exactly the greatest chopsticks ever made, the time I spent laughing and taking with my host family made this experience a special one I will always keep dear in my heart!



お寿司作り体験

リア・ソルキン

(ウィリアムズ大学)

日本の文化のイベントのために、寿司屋に行って寿司の作り方を寿司屋さんに教えてもらいました。KCJSの学生と同志社大学の学生と一緒に「寿しのむさし」という店に行きました。寿司屋さんに、何回か握り寿司の作り方を見せて教えてもらってから、寿司ご飯と色々な魚と卵をもらって、日本人の学生と話しながら自分で寿司を作りました。



思ったより難しかったです！できたら、すぐ食べました。とても美味しくて、面白くて楽しいイベントでした。

For a Japanese Cultural event, we went to a sushi restaurant and a sushi chef taught us how to make sushi. A group of KCJS students and Doshisha students went together to Sushi no Musashi. The sushi chef demonstrated how to make nigiri sushi a few times, then gave us rice and fish and egg and we started to make our own sushi. It was harder than it looked! We made and ate sushi while talking with the Japanese students. It was an interesting, fun, and delicious event.

三味線

イザベラ・ロビラ
(ペンシルバニア大学)



今学期、CIPで三味線を習っています。毎週、他のKCJSの学生と岩崎先生の家に行き、一緒に練習しています。始めてから今まで、「さくら」と「黒髪」と「千本桜」を習いました。前に、ピアノとバイオリンの経験があったから、新しい楽器を習うことはとても楽しいです。三味線の経験がなくても、楽しいです。

This semester, I learned to play the shamisen. Every week, I go to Iwasaki-sensei's house with other KCJS students and practice together with them. Since starting, I've learned Sakura, Kurokami and Senbon Zakura. Before then, I had experience playing the violin and piano so learning a new instrument was really fun. Even if I didn't have experience, I still think it would be enjoyable.

CIPとは

学生たちが、ボランティア等を通じて、日本の地域社会とつながりを持つプロジェクト。それぞれが興味を持っている活動を選んで参加する。

ランゲージパートナー

ティエラ・ルート
(ボストン大学)



KCJSにはランゲージパートナーのプログラムがあります。私のランゲージパートナーは小栗奈於という同志社でグローバルコミュニケーションを勉強している学生です。一緒にUSJに行き、楽しんだだけではなく、五時間日本語で話し、五時間英語で話しました。毎週、一緒に昼ご飯を食べたりするから、お互いに外国語を楽しみながら練習できます。

KCJS offers an opportunity to get paired with a language partner; mine is named Nao Oguri. She studies Global Communications at Doshisha, and together we have done many fun things (mostly eating together in the dining hall!), but our trip to Universal Studios Japan is certainly the winner. We not only spent five hours speaking together in Japanese but another five in English! Thanks to this program, we have an opportunity to learn our respective foreign languages and have lots of fun in the process.

立命館大学国際平和ミュージアムでのボランティア活動

ユーペイ・グオ(イェール大学)

先学期から、立命館大学国際平和ミュージアムで学生ボランティアとして働いています。仕事は、主にチラシやウェブサイトの翻訳、ポスターのデザイン、宣伝ビデオの作成です。特に、ミュージアムの学生スタッフの感想を入れた宣伝ビデオを作成しながら、立命館の色々な大学生に出会い、様々な側面から日本人の文化・思考を深く理解できるようになりました。大変なことも多いですが、上司にも学生スタッフにも恵まれ、非常に実りある経験をしています。

This semester, I work as a student volunteer at Ritsumeikan University's Kyoto Museum for World Peace. My responsibilities are mainly translation of leaflets/webpages, poster design and making a promotional video about student staff and their thoughts on the Museum. Despite facing numerous obstacles in a Japanese professional workplace, I was fortunate to receive advice from both my superiors and my colleagues, and through my hard work I consider this to be an extremely rewarding experience.



宣伝ビデオについて学生スタッフとミーティング中
Discussing the video campaign project with student staff

日本人学生との話し合い中です!!



京都女子大学の学生と安保関連法について意見交換
Discussing Japanese security-related bills
with Kyoto women's university students

日本語のクラス

アンドリュー・ウェレン
(ワシントン大学セントルイス校)



KCJS の日本語の授業の B クラスを取っています。B クラスでは、日本語のネイティブスピーカーのようにするためにたくさん語彙と文法を勉強しています。B クラスの学生は、日本語で分かることもたくさんありましたが、まだ語彙が少なく、聴解も難しく、たくさんの表現を聞いたことがなかつたろうと思います。でも、このクラスで勉強したおかげで、聴解や文法、語彙、表現が分かるようになりました。それだけではなく、一番大切なことは、他の人と日本語で話すことが楽になったことです。前は、日本語を使おうとすると、おろおろしましたが、今は、分からない言葉があっても、気にしないで日本語で話せるようになりました。

I'm enrolled in B-class of the KCJS language program. In B-class, we study a lot of vocabulary and grammar to come to be able to speak like a native speaker. Students understand a lot of Japanese, but their vocabulary may be small, listening comprehension may be difficult, and maybe they haven't heard a lot of expressions. With the help of this class, not only have these things improved, most importantly, I have become more comfortable with holding a conversation in Japanese. Before, I always felt flustered when using Japanese, but now, even if there are words I do not know, I can speak Japanese without worries.

私のホストファミリー

エリザベス・スミス(シカゴ大学)



私のホストファミリーは、お母さんの愛子さんとお父さんのみつひろさんと、五歳のゆりかと7歳のほのかという妹たちです。たくさんのいい経験をしました。秋には、なしがりをしました。一緒にたくさんのなしを食べて、もっとたくさんのなしを持って帰りました。おばあちゃんもとてもやさしいです。ほのかの七五三の時、私にもこの家の着物を着させてくれました。普段の日も

高松旅行

キンバリー・マドリッド(コロンビア大学)



今学期の旅行は四国でした。高松駅に着いたら、貸し切りバスに乗って、栗林公園へ美味しいお昼ご飯を食べに行きました。お昼ご飯の後でちょっと時間があつたから、公園を散歩しましたが、その散歩がウォームアップにすぎないことはまだ分かっていませんでした。最終の目的地はこんぴらさんでした。てっぺんにある内殿までは1368段あります。思ったよりしんどかったです。てっぺんの景色は本当にすばらしかったです。

This semester, KCJS took us to Shikoku! After arriving at Takamatsu Station, we piled into a tour bus and headed to Ritsurin Garden (modeled after a daimyo garden) for a delicious bento lunch. We had some free time to walk around the park; little did I know that the walk around Ritsurin was only the warm up. Our last stop of the day was Konpira-san. 1,368 steps to the top - can't be that bad, I thought. About an hour and a half and 1,368 steps later, I was proven very wrong, but the view was well worth the climb.

すごく楽しいです。三匹の猫に服を着させたり、面白いテレビ番組を見たりしています。皆大好きです！

I love my host family so much! We have had so many incredible experiences together- from pear picking, to wearing kimono for Hono's Shichigosan ceremony, to the casual nights we spend at home, dressing up the cats and watching silly TV shows. I can't imagine my KCJS experience without them!

フィールドトリップ

シェー・バイ(ボストン大学)

静かな山間、京都らしさのある素敵な和室、暖かくて美味しい花梨茶、センスがいい音楽、優れたストーリーを秘める伝統工芸。日本の心を世界に伝えることをミッションとする仕事をされている松山幸子さんにお話をうかがい、そのあり方に触れた。

松山さんは、カナダに留学していたとき、土で出来た湯のみを両手で持ってお茶を飲んでいたら、それを見た友人に「あ、すごく日本人っぽいな」と言われた。何をもち「日本人」とするのかを考えていくうちに、日本の歴史や文化の中から生み出された魅力と精神性を守ることに對する関心がだんだんと膨らんできて、それを世界に発信するため monomo を創立。生活の中で愛情を持ってじっくりと物を使っていくような暮らしの楽しみ方を提案している。また、世界中に価値観を共有できる人を増やすべく力を注いでいる。帰る前、ご厚意で寄木細工のボタンをくださった。このボタンは、これから私の人生のその時々で、私をどんな気持ちにさせてくれるのだろう。どんなストーリーを演出してくれるのだろう。楽しみにしつつ、大事に使っていききたい。

We were lucky to meet Matsuyama Sachiko-San and get to know her authentic living style and the Monomo, the company she founded in the aim of inspiring people in the global community to appreciate everyday life and the stories behind every piece of goods. She gave us some adorable little buttons of yosegi zaiku before we left, and I am ready to experience and continue the story behind these buttons.



個人研究

アレン・チェング(コーネル大学)

今学期、independent studyとして、コーネル大学で始めた教育ゲームの研究を続け、エリック・アンダーセン教授(コーネル大)と西俣美由紀先生(KCJS)の指導の下で、日本語教育のモバイルゲームを開発している。このゲームでは、プレイヤーが街を歩いている時、その場所に関係がある単語が出てくる。例えば、カフェの近くにいたら、「コーヒー」や「喫茶店」という単語が出てくる。このように、ゲームを通して物理的コンテキストの中で単語を習ったら、プレイヤーが日本語をもっと効果的に覚えられるだろうと期待している。

In my independent study at KCJS, I am developing a mobile game for learning Japanese vocabulary, based loosely on concepts from Pokémon GO, under the guidance of Prof. Erik Andersen (Cornell) and Japanese instructor Miyuki Nishimata (KCJS). In this game, as the player walks around town in real life, new vocabulary words pop up based on the player's location. I feel very fortunate to have the chance to continue my research on educational technology and game design from Cornell University while in Japan, and I am grateful to the KCJS program, KCJS director Prof. Mark Lincicome, and my advisors for their guidance and support.

KCJS28 春学期学生賞 中間投票結果

①日本語でがんばっているで賞

ユーペイ・グオさん、アレックス・ホールさん、トレバー・メンダスさん

②KCJSの外でがんばっているで賞

ユーペイ・グオさん、トレバー・メンダスさん、ティエラ・ルートさん

先輩達の活躍

《JET プログラム》

シーミン・リンさん(KCJS27 春 イェール大学シンガポール校) ALT 合格

レジナ・ホンさん(KCJS27 春 イェール大学シンガポール校) CIR 合格

《近況報告》

アラン・アキノさん(KCJS27 通年 ペンシルバニア大学) NTTドコモ 就職

アンソニー・島本さん(KCJS23 秋 コルビー大学) 大阪府藤井寺市の教育委員会勤務

クリス・ヒューバーさん(KCJS26 春 ブラウン大学) 京都大学文学部 研究生

ジェ・ウーさん(KCJS27 夏 ワシントン大学セントルイス校)

中村拓志&NAP 建築設計事務所 インターンシップ

チェルシー・林さん(KCJS27 秋 タフツ大学) 母校で Japan Prize 受賞

ニコール・ベルトツツィさん(KCJS27 通年 シカゴ大学) フルブライト奨学金補欠合格

